

可児歌舞伎(可児市)

可児市内ではその昔、素人歌舞伎が庶民の大きな楽しみの一つとして盛んに上演されており、市内のいくつかの神社には奉納芝居が行われていた痕跡があります。戦後一時は復活したものの昭和三十年代に入つて衰退し、可児の地歌舞伎の中心的役割を果たしてきた地域の貸衣裳屋も廃業することとなりました。

平成十年、地歌舞伎の貸衣裳屋であったつから、衣裳やかつら、小道具等多くの寄贈が可児市になされたことを契機に、「歌舞伎とは何ぞや」をテーマにした市民講座が開かれました。この講座の修了生が中心となつて、平成十二年に結成されたのが可児歌舞伎同好会です。当会では、芝居の上演だけではなく、

地歌舞伎を学ぶところから活動を開始しており、勉強会の開催や歌舞伎衣裳の制作など、特色ある活動を行っています。

次世代の人たちに地歌舞伎の楽しさを伝え、地域の誇れる伝統文化として手渡していくため、会員一同、気持ちを一つにして精進していきます。



岐南町伏屋獅子舞保存会(岐南町)

伏屋の獅子舞は、岐南町伏屋地区にある白山神社祭礼の際に奉納されてきた、伊勢大神楽の流れをくむ獅子舞で、江戸時代より長きに渡り地域の人々の手によって受け継がれています。

伏屋の獅子舞は大きく「神楽獅子」と「獅子芝居」の二つに分けられます。神楽獅子は、白山神社祭礼の際の奉納で行われる、悪魔払いを中心とした獅子の舞、獅子芝居は、獅子が歌舞伎や人形浄瑠璃の外題を演じる芝居です。伏屋の獅子舞は、獅子の性別が雌の雌獅子であり、獅子頭はたてがみが無く耳が立ち、舞手は黒紋付を着て演じます。雌獅子が演じる獅子芝居が、貴重な芸能であるとして、岐阜県重要無形民俗文化財に登録されています。

一時は後継者がおらず、存続の危機にありましたが、伝統の灯を絶やしてはならないと、再興の取り組みにより、現在は二十代から三十代の若手も増え、再び上演されています。今後も過去に獅子芝居が盛んであった時期に行われていた芝居の外題を中心に、新しい演目の公演ができることを目指して活動していきます。



地歌舞伎 勢揃い公演



美濃歌舞伎保存会(瑞浪市)

美濃歌舞伎保存会は、江戸期より瑞浪市内で盛んであった地歌舞伎を復興・保存するため、昭和四十六年、地元企業の従業員および地域の有志によつて結成され、翌年から毎年公演を行ってきました。

当保存会では、演じることはもちろん、江戸時代より伝えられる四千点を超える衣裳群(県有形民俗文化財を含む)や、昭和五十一年に旧益田郡下呂町の「相生座」と旧恵那郡明智町の「常盤座」を移築・再建した芝居小屋「相生座」の保存活用、衣裳や着付け、かつら化粧などの後継者育成などを柱に活動しています。毎年二回の公演は地域密着の活動として定着しており、平成十三年に立ち上げた子供教室は、今では、浄瑠璃語りや三味線の指導にも取り組み、若い世代が舞台にのるまでに育ってきています。

さらに、地歌舞伎文化の魅力在海外にも発信するため、チニアメリカ・イタリア・ベトナムなどの国々で独自の活動を展開したほか、平成二十七年にはイタリアローマ大学でのジャパンフェスティバルに子供たちのみでの上演、平成三十年にはフランス・パリ市内でのジャポニスム2018にも参加、同年スペインのサラマンカ大学ではワークショップも開催いたしました。令和元年には、ハワイ大学で衣裳かつらの授業を行ってきました。

今後も、先人から受け継いだ地歌舞伎を次世代へ引き継いでいくことを使命に、地域の皆様のご支援をいただきながら活動していきます。



新型コロナウイルス感染予防対策について

安心して参加いただくために、皆様のご協力をお願いします。

- ・発熱や風邪症状のある方は、参加をお控えください
- ・マスク着用の方(マスク非着用の方はご入場できません)
- ・手指消毒及び検温の実施(37.5℃以上の方はご入場できません)
- ・ソーシャルディスタンスの確保
- ・出演者への声援(大向こうエリアを除く)や歌唱、入り待ち、出待ちの禁止

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により公演の内容(大向こう・おひねりを含む)を変更したり、中止となる場合がございます。

ぎふ清流文化プラザ YouTubeチャンネル

涙あり笑いあり、色とりどりの演目を「ぎふ清流文化プラザ YouTube チャンネル」でご覧いただけます。

地歌舞伎勢揃い公演の動画を配信中!



地歌舞伎とは

地歌舞伎とは、地元の素人役者たちによって演じられる、地域に根付いた歌舞伎です。江戸や上方で盛んであった歌舞伎は、地方を巡るプロの旅役者によって全国各地に広がり、それに憧れた地方の人々が神社の祭りに演じたり、芝居小屋を造ったりと、自ら楽しむようになりました。現在、岐阜県には30を超える地歌舞伎保存団体が存在し、9軒の芝居小屋が各地に現存しています。岐阜県は全国有数の地歌舞伎が盛んな地であり、芝居小屋をはじめ、毎年各地で定期公演が開催されています。江戸時代から伝わる演目や振付が大切に受け継がれ、親しまれている岐阜県の地歌舞伎をご堪能ください。

210mm
②山折り

↓地
裏表紙
表面

207mm
①山折り

中に折り込む面

日本礼



主催/岐阜県・(公財)岐阜県教育文化財団
協力/岐阜県地歌舞伎保存振興協議会

「清流の国ぎふ」文化祭2024さきかけプログラム 清流の国ぎふ 地歌舞伎 勢揃い公演

2022年11月26日(土)

◆会場 **ぎふ清流座**(ぎふ清流文化プラザ 長良川ホール)

◆開演 13時00分(開場12時00分)

◆上演外題・出演

13時00分(60分)

傾城阿波の鳴門 **どんどろ大師の場**

14時20分(50分)

傾城阿波の鳴門 **巡礼歌の秘**

15時35分(70分)

傾城阿波の鳴門 **御殿より下**

御殿先代様 **御殿より下**

美濃歌舞伎保存会(瑞浪市)

終演16時45分(予定) 演目等は変更となる場合がございます。



可児歌舞伎



岐南町伏屋獅子舞保存会



美濃歌舞伎保存会

イヤホン同時解説

演目の見どころやあらすじについて、
分かりやすく解説します。

地芝居天国ぎふ応援大使
古典芸能解説者 **葛西 聖司氏**



第39回国民文化祭 第24回全国障害者芸術・文化祭
「清流の国ぎふ」文化祭2024

ともに、つなぐ・みらいへ〜清流文化の創造〜
2024年10月14日(月)〜11月24日(日)

297mm

210mm

表紙

この線の延長で断裁

傾城阿波の鳴門 どんどろ大師の場 可児歌舞伎 (可児市)

阿波の国の城主 玉木衛門之助が遊興にふけっている間に、江戸家老 桜井主膳はお家の重宝「国次の刀」を悪家老小野田郡兵衛に盗まれてしまいました。この刀のありかを探るために、十郎兵衛・お弓の夫婦は銀十郎・お徳と名を変え、盗賊の群に入り、大阪玉造のほとりに住んでいきます。

ある日、お徳はどんどろ大師の命日に参詣した時、その門前で憐れな巡礼歌を唄いながら来るいたいな娘と出会います。故郷に同じ年頃の娘を残して来たお徳は、自然とこの娘に心を引かれていきます。お徳がどうしたわけの一人旅かと訊ねると、娘は「国は阿波の徳島で、父様の名は十郎兵衛、また母様の名はお弓、その父母に逢いたさ故に、わし一人西国するのでございます」と答えます。お徳の心はつぶれる思い。この娘こそわが生みの子おつるだと気づきますが、現在の自分たちが盗賊の身であり、そのために娘に難儀がかかるのを恐れ、わざと親子の名乗りを避けて返してしまうのでした。

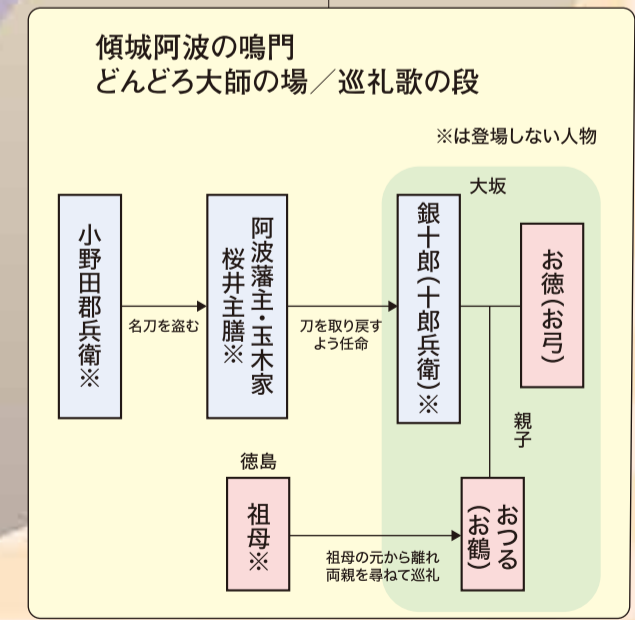
傾城阿波の鳴門 巡礼歌の段 坂南町伏屋獅子舞保存会 (坂南町)

徳島は阿波藩、玉木家の家宝である名刀「国次」を探すため、主の命を受けた十郎兵衛、お弓の夫婦は三歳の娘お鶴を国許に残し、盗賊の仲間となって諸国を巡りますが、じきに金銭も尽き、悪事を重ね尋者となってしまいます。九歳になったお鶴は、両親に会いたい一心から、巡礼歌で諸国遍路の旅に出ていました。ある日、大坂に身を隠すお弓の元に、偶然、巡礼姿のお鶴が訪れます。お弓が話を聞くとお鶴は「父さん阿波の十郎兵衛、母さんお弓」と言い、間違いない我が娘であることに気がつきます。今すぐに抱きしめ、母と名乗りたい思いを抑え、今は役人に追われる盗賊の夫婦であることから、ここで名乗れば娘に罪が及ぶことを恐れ、国へ帰るよう諭します。お鶴は「どうやら母さんのように思われて」と泣き、ここにおいてほしいと頼みます。二人は泣く泣く別れますが、お弓は耐え切れず後を追うのでした。

- ◆配役
- お徳(お弓) 坂口美紀
 - おつる 六戸 柚葉 (小学六年生)
 - お梅 下村淳子
 - 茶屋娘 お花 水野テツ子
 - 松吉 杉山みち代
 - 参詣の女 野村和子
 - 山田千代子
 - 内山美子
 - 若月かよ
 - 参詣の男 古山暁子
 - 柳生 貴美恵
 - 小島美枝子

- ◆配役
- お鶴 小杉桜子 (小学三年生)
 - お弓(獅子舞) 朝倉修一
 - お弓(言葉師) 青井 胡桃

- 太夫 杉江 陽輔
- 唄 松原 正和
- 三味線 津川 裕平
- 附け 杉江 美晴
- 着付 三宅 朱美
- 村瀬みどり



イヤホン同時解説 葛西 聖司氏

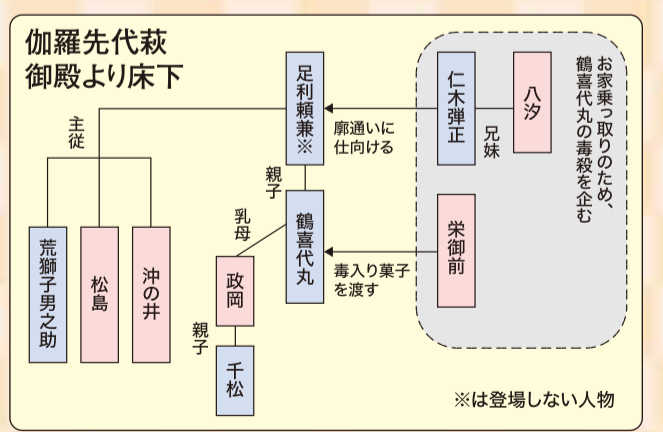
東京都出身 古典芸能解説者。NHKアナウンサーとしてテレビ、ラジオで様々な番組を担当してきた。現在は、歌舞伎や能狂言など古典芸能の解説や講演、また日本伝統文化のセミナーを全国で開催している。「教養として学んでおきたい歌舞伎」「教養として学んでおきたい能・狂言」「僕らの歌舞伎」「文楽のツボ」ほか著書多数。令和四年四月より地芝居大國きふ応援大使に就任。

伽羅先代萩 御殿より床下 美濃歌舞伎保存会 (瑞浪市)

伊達藩には、お家乗っ取りを狙った悪人たちがばかり、若君 鶴喜代丸を毒殺しようとしているため、乳母の政岡は、若君に食事を差し上げるのも容易ではありません。そこで、自分の子千松をお毒見役として、若君のそばに仕えさせています。二人の子どもは、空腹に耐えかねて、食事をせがみますが、なかなか思うようにしてやる事ができません。そんな所へ、鎌倉の上使 梶原平三景時の代理として、妻の栄御前がやってきます。八汐、沖の井、松島など一家中出迎えの中、右大将 源頼朝公から下賜の菓子を勧めます。政岡は、毒が入っていることを危惧し、これを食べさせまいとしますが、栄御前との押問答の間に、奥の部屋から千松が走り出て、この菓子を食べてしまいます。たちまち毒の効き目が現れて苦しみだすと、毒殺を悟られまいとして、八汐は千松をなぶり殺しにします。わが子の死にも動ぜず鶴喜代丸を守る政岡の気丈な様子を見た栄御前は、鶴喜代丸が政岡の子で、死んだ千松こそが若君であると早合点し、お家乗っ取りの計画を打ち明け、一味の連判状を政岡に渡して引き上げてゆきます。人がいなくなったことを確認した政岡は、我が子の

の死骸を抱き上げて涙にくれます。この様子を見ていた八汐が、政岡に切りかかろうとしますが、政岡は我が子の仇と八汐を討ちます。その時、大きな鼠が連判状を啜えて逃げてゆきます。舞台は一転して御殿の床下となり、ここに直宿していた荒獅子男之助は鼠を追います。実はこの鼠こそ、お家乗っ取りの大悪人・仁木弾正の忍術の化身でした。男之助の一喝でたちまち姿をあらわした弾正は、悠然としてその場を去ってゆくのでした。

- ◆配役
- 乳母 政岡 小栗久美子
 - 若君 鶴喜代丸 小栗 古都芭 (年長)
 - 政岡一子 千松 小栗 碧華 (小学二年生)
 - 梶原平三妻・栄御前 渡会 銀兵衛妻・八汐 小栗 寛樹
 - 田村右京妻・沖の井 伊藤 允一
 - 斬波左京妻 松島 榊原 恵
 - 仁木弾正 浅井 胡幹 (高校一年生)
 - 榊原 勝哉



- 振付指導 尾上 幸松
- 太夫 松川 竜之介
- 三味線 竹本 美芳
- 下座 長唄 豊澤 順八
- 鳴物 柘屋 喜鶴
- 住田 喜久次
- 鳳川 辰次
- 小野崎 隆賢
- 市川 紫女升
- 美濃歌舞伎衣裳部

- 【神楽獅子】
- 獅子舞 朝倉修一
 - 後持 杉江 陽輔
 - 唄 松原 正和
 - 笛 津川 裕平
 - 伏屋 節雄
 - 青木 崇将
 - 加藤 隼也



中に折り込む面

中面

表紙裏

297mm

207mm

210mm

210mm

①谷折り

②谷折り